



連携事例22

R5.8更新

# みんなでつくる自然の郷

～ たらやまの郷へいこう ～

ちば  
コラボ大賞  
受賞事例



春は市民参加による田植え体験

## ■協働パートナーの種別

NPO

企業

行政

教育

地縁

## ■事業運営団体

たらやま会

## ■協働パートナー

☆四街道市役所 ☆NPO 法人四街道メダカの会

☆四街道フォレスト ☆四街道自然同好会

☆よつかいどう野外保育さとのたね

☆NPO 法人四街道こどもネットワーク

## ■資金調達手段

委託料・助成金・寄附・利用料等受益者負担・運営団体負担・その他

## ■事業費

年 60 万円

## 事業概要

市街化区域に隣接し、人の手が入らなくなった里山（たらやまの郷）の保全を行っています。昭和 30 年代の里山風景を創り出すことを目指し、手作業による散策路の整備、休耕田を復元した稲作体験を実施。また生物多様性に配慮した整備を行っており、動植物調査も毎月実施し、状況をまとめ、成果を研究団体等に提供しています。

近隣小学校の授業の一環として自然観察会や市民向けのイベント（田植え、稲刈り等）も実施し、自然のある景観形成の大切さを学ぶ機会を創り出しています。

## 協働までの経緯

四街道市は住宅都市であると同時に、住宅地に隣接した地域には豊かな林野が残されています。しかし土地所有者の高齢化や後継者不足などにより里山の手入れが行き届かず、荒れたり休耕地になることが増えてきました。このような現状や課題の中、土地所有者の厚意により土地（現たらやまの郷）を借り受け、たらやま会と四街道市が協働して昭和 30 年代の里山風景の再生を目指した保全活動を平成 24 年から開始。また自然観察会、田植え体験、野外保育等、自然のある景観形成の大切さを学ぶ機会を創り出しています。

## 主な事業内容(年間スケジュール等)

- ①生物（動植物）調査（年間 20 日程度）【総合公園の植生調査の会、メダカの会、自然同好会】
- ②田植え、整備、稲刈り（年間 20 日程度。その他個別活動有り）【メダカの会、さとのたね】
- ③伐採、草刈、倒木処理、補修、散策ルート整備（年間 12 日程度）【四街道フォレスト】
- ④観察会、田んぼイベント、ホタルナイツツアー（年間 10 日程度）【メダカの会、自然同好会、さとのたね】
- ⑤安全面における巡回等（年間通して毎月実施）
- ⑥広報活動（ガイドブック「たらやまのさとみっけ」発行（3,000 部）、季節のたより発行（年 4 回）、生物調査報告書作成（隔年）、

## 📍 主な協働パートナーとの役割分担

【NPO】

たろやま会（たろやまの郷の整備・保全活動全般）

【構成団体】

NPO 法人四街道メダカの会（谷津田の管理、水辺の保全、稲作イベント等）、四街道フォレスト（修繕、散策ルート等の整備、倒木処理等）、四街道自然同好会（動植物の調査、自然観察会（地元小学校の授業等）等）、よつかいどう野外保育さとのたね（たろやまの郷をフィールドとした野外保育、稲作イベント等）、NPO 法人四街道子どもネットワーク（たろやまの郷をフィールドとした活動等）

【行政機関】

四街道市役所（地元自治会や土地所有者等との連絡調整、保全活動、負担金等）

## 📍 協働事業によって生まれた成果

【NPO】

○たろやま会

- ・異なる分野の市民団体が連携し、それぞれの特性を生かした里山整備を実施することで、当事者意識をもった会として主体性のある活動を展開することができました。
- ・構成する団体の関係者も多く、連携する各構成団体の活動にも触れることができ、里山保全等活動の幅広い周知、たろやまの郷の魅力の発信にもつなげることができました。

【行政機関】

○四街道市役所

- ・市民団体と協働で行うことで、市民目線に立った緑化推進、里山保全等の事業展開が図ることができました。
- ・たろやまの郷の魅力の幅広い周知を図ることができました。
- ・今後、持続可能な事業としていくための、市民団体のもつノウハウの共有、新たなコミュニティ形成等が図ることができました。

## 📍 今後力を入れていきたいこと

- ・たろやま会を構成する団体の得意分野を活かした活動を展開しているため、無理なく継続的な活動が期待できます。
- ・重機を使わず団体の人力による整備活動を基本とし、また資材についてもたろやまの郷内で不要となった竹等を利用する等、持続可能な取組とするために最大限自然への配慮を行った活動をしていきます。
- ・平成 24 年の実行委員会を組織後、地元自治会、土地所有者等との連絡調整役を行政が担うなど円滑な事業実施につなげていきました。平成 28 年のたろやまの郷の全面供用開始後は、実行委員会を再編して発足したたろやま会をサポートする立場で行政が関わり、より市民目線に立った、自由度の高い活動を展開できる環境を整えました。（平成 28 年に保全活動に関する協定締結）たろやま会の構成体同士の連携はもちろん、地元自治会や土地所有者、小学校等、多様な主体、多様な世代との丁寧な関係づくりは活動自体の安定化をもたらすとともに、地域のニーズをしっかりと捉えた息の長い活動を行っていくことが期待できます。

## ♡ コラボのコツ!!

### ★コツ1

里山の再生と保全に取り組むたろやま会は、自然環境保護団体をはじめ、野外保育を行う団体など 5 団体で構成されており、それぞれの得意分野を生かし、無理なく活動を行うことで持続可能な活動となっています。

### ★コツ2

上記と合わせて、野外保育活動や子どもの育ちに関わる団体が構成団体に名を連ねることで、子ども、子育て世代にとっても必要とされる活動を展開し、また高齢者が中心となりがちな当該活動に多様な主体、世代が関わりあえる環境を創り出しました。

### ★コツ3

構成団体による企画事業、自主事業等、主体性をもった活動を展開しています。（例：自然観察会。稲作体験（田植え、稲刈り）、幼児向けの自然と触れ合う企画等。また、異なる構成団体がそれぞれ田んぼイベントを実施することで、それぞれとのつながりのある参加者を得ることができ、結果として様々な形でたろやまの郷に触れる機会を増やすことにつながっています。）



## 協働事例プロフィール

【活動開始年】 平成 24 年 10 月 【活動の PR 手法】 市公報・ホームページ、  
【この事業で活用した補助金】 四街道市の負担金、県環境基金等  
【表彰歴・マスコミ掲載歴等】 都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」優秀賞（H28）  
ちばコラボ大賞（2020 年）、千葉県里山大賞（2020 年）  
【問い合わせ先】 担当者：任海正衛 電話番号：090-4204-3741 メールアドレス：s\_tohmi@ybb.ne.jp